

平成 30 年度全国建築士フォーラム開催報告

行 事 名 称	全国建築士フォーラム in さいたま	会 場	ソニックシティ 市民ホール
開 催 日 時	平成 30 年 10 月 25 日 16:30~21:00	報 告 者	連合会青年副委員長 稲見 公介
開 催 趣 旨	<p>テーマ：「僕らが考える 明日、10年後の建築士」</p> <p>次世代を担っていく青年建築士の皆様に、建築士、建築士会が10年後にどうあるべきかを、外部講師のワークショップを受けながら、討論し考えていただく。</p>	内 容	<p>①綱領唱和</p> <p>②平成 29 年度委員長会議説明</p> <p>③委員長会議のスローガンディスカッション</p> <p>④建築士会活動として関わりたいテーマのディスカッション（4つのテーマがある）</p> <p>⑤ 10年後の建築士、建築士会についてのグループディスカッション</p>

報 告 事 項	<p>◇趣旨に対する成果</p> <p>ワークショップの内容は概ね満足頂けたようで、議論が白熱し、タイムオーバーになるグループも複数あった。</p> <p>10年後の建築士、建築士会を考えてどのような活動をしていくべきかを、建築士の人間的成長、建築士の社会的立場の向上、労働環境や、働き方改革、報酬の向上という4つのテーマで討論した。参加者の意見としては建築士会活動を通じて、建築士の人間的成長をしたいという意見が半数近くあり、建築士の社会的立場をあげたいという意見が次に多く、全体でこの二つを合わせると7割の参加者が建築士会に望むことが業務報酬や労働問題でなく、自分たちの成長や地位向上を望んでいることがわかり、今後の建築士会の活動のすすむべきあり方が、みえた結果となった。</p> <p>外部講師を招いたことで、ワークショップの進め方を学べたり、活動に対して目的付けや目標設定が多くの参加者や建築士会でうまく出来ていないこともわかり、参加者が単会にこの学びを持っていき広げることで建築士会のさらなる発展や活動のクオリティがあがることになるそんな素晴らしいワークショップになったと感じている。</p>
	<p>◇課題・検討事項</p> <p>時間がメガワークショップと考えると短く、まとめきることが出来ないグループもあったため、もう議論する内容を狭めた方が良かったのかもしれない。</p>
	<p>参加者数：フォーラム 226 名、懇親会 207 名</p>

開催状況

